

作業効率、活着率に優れた

タキイ式ピン接ぎ法

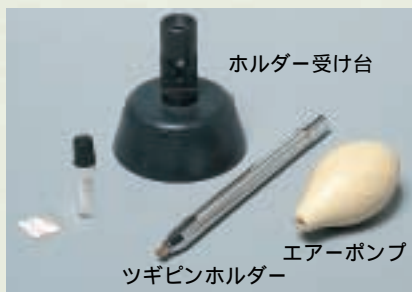
～ウリ科を中心に大活躍～

タキイ研究農場 増岡 晃士

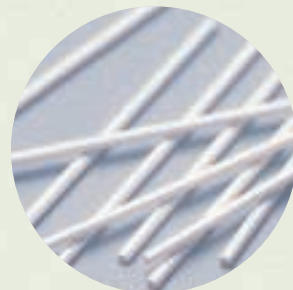


近年、果菜類において高品質の品種指向や土壌病害の回避が重要になってきており、接ぎ木の需要はますます高まってきました。タキイでは、オリジナル接ぎ木方法である「ピン接ぎ」を約10年前から推進しており、多くの苗生産業者や農家の方々に使用されています。

今回は、ピン接ぎ法のマニュアルとともに接ぎ木のポイントを紹介しますので、接ぎ木苗生産の参考として役立ててください。



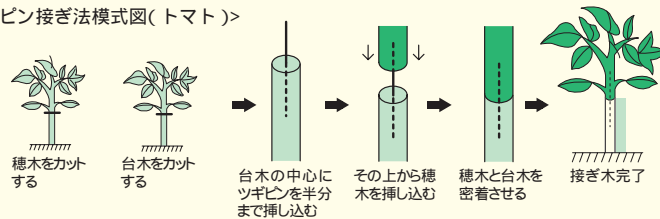
タキイオリジナルの、ツギピンホルダー受け台セット。



ツギピン拡大写真。

ピン接ぎ法とは？...台木と穂木をセラミック製のピン(径0.5mm×長さ15mm)によって固定する接ぎ木方法です。

<ピン接ぎ法模式図(トマト)>



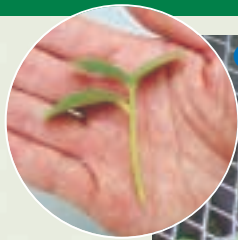
↓接ぎ木のポイント (8頁より続き)

②挿し床の土は、台木の発根が早まるよう、チッソ成分の少ない培土(TM-1)を使用するとよいでしょう。接ぎ木後、長期育苗(72穴トレイを使用)する場合は、適宜追肥を行い、肥料切れを起こさないようにしてください。

③「かっちゃん」を接ぎ木直後に散布すると、活着促進と奇形葉減少が期待できます(特にキュウリ接ぎ木)。

④しおれるのを恐れるあまり、過湿管理(台木から発根しているのにもかかわらず、湿度100%に近い管理)にすると、穂木から自根が出て活着不良の原因となったり、台木の双葉が水浸状となって双葉の一部が枯れてしまう場合がありますので注意が必要です。

キュウリなどウリ科の接ぎ木で、活着促進と奇形葉減少の効果が見られる「かっちゃん」。



メロン接ぎ木完了苗。

接ぎ木後の養生条件

	期間(日)	温度()	湿度(%)
キュウリ スイカ メロン	1~2日目	28	98
	3~4日目	25~28	93~95
	5~6日目	20	90以下

ここでの養生条件は、あくまで目安です。



穂木(キュウリ)から自根が出てしまった様子。



台木(カンピョウ)が水浸状になった様子(穂木はスイカ)。

② トマト・ナス・ピーマン(ナス科)のピン接ぎ

~ナス科でのピン接ぎ法の3大メリット~

- 1 作業性に優れており(接ぎ木時間の短縮)、チューブ接ぎに比べて約1.3倍の作業効率アップ。
- 2 穂木、台木の太さが違う場合も接ぎ木が可能。
- 3 接ぎ木後に資材が残らない(ピンは植物内に残り、ピン自体も土にかえるので環境にやさしい)。



トマト接ぎ木苗。

↓培土とトレイの選択

		播 種 用		移植用 培土
		培土	トレイ形状	
トマト	穂木	TM-1	128・200穴	育苗培土
	台木			
ナス ピーマン	穂木	たねまき培土	200穴	
	台木		128穴	



25~35日あまり肥効が続く「タキイたねまき培土」は、タネまき全般に適する。

① キュウリ・スイカ・メロン(ウリ科)のピン接ぎ

～ウリ科でのピン接ぎ法の4大メリット～

- 1 作業性に優れており(接ぎ木時間の短縮)挿し接ぎに比べて作業効率が約1.4倍にアップ。
- 2 台芽の発生が少ない。
- 3 挿し接ぎに比べて、接ぎ木可能な苗の生育期間が広い。
- 4 接ぎ木後に資材が残らない(ピンは植物内に残り、ピン自体も土にかえるので環境にやさしい)。

ウリ科のピン接ぎは、断根片葉切断接ぎが基本となります。
子葉を2枚残しての接ぎ木でも構いませんが、片葉残の方が台芽がきれいに取れます。
(子葉1枚でも2枚でも、その後の生育は、ほとんど変わりません。)

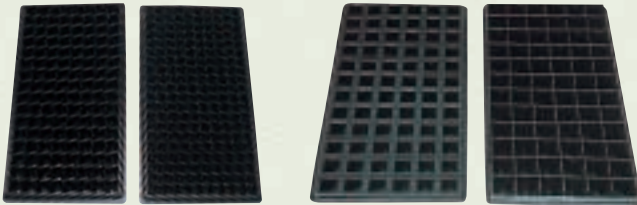


キュウリ接ぎ木苗。

↓培土とトレイの選択

		播種用		挿し床用		移植用培土
		培土	トレイ形状	培土	トレイ形状	
ウリ科	穂木	TM-1	200穴	TM-1	72・R72穴	育苗培土
	台木		128穴			

72穴は培土量が多いので、長期育苗や直接定植に適します。
R72穴は短期間で根回りするので、移植に適します。



左から128穴、200穴、R72穴、72穴トレイ。



平均肥効日数8～10日の追肥型培土で、排水性・保水性・通気性に優れた「タキイセル培土TM-1」。



平均肥効日数40～60日の長期肥効型培土で、排水性・保水性・通気性に優れた「タキイ育苗培土」。

↓接ぎ木適期

ウリ科全般 穂木 本葉1枚目 米～大豆粒大
台木 本葉1枚目 大豆～1円玉大

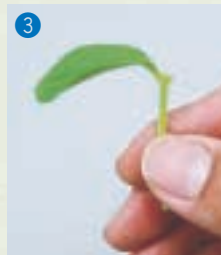
できるだけ平らに台木の本葉と片方の子葉をカットし、穂木も平らに1cmほど胚軸を残してカットします。



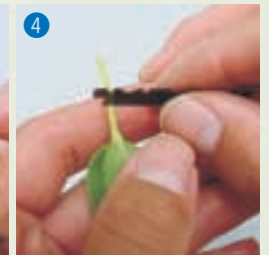
メロン接ぎ木適期苗の状態(左:台木、右:穂木)。



台木の本葉と片方の子葉をカットする。



穂木の胚軸をカットする。



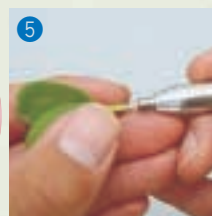
↓接ぎ木のポイント

①台木(カボチャ・カンピョウ)には空洞があるので、空洞が出ないように台芽ぎりぎりにカットします。空洞があるとピンが固定できないので、活着不良の原因となります。

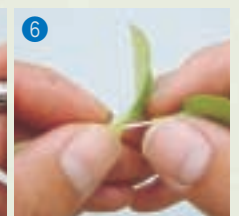
→穂木にピンを挿し、穂木の生長点を突きささないように、軸とピンを軽く持ちながら台木に挿し、密着させます。その後、挿し床に台木の軸を挿します。



台木(カボチャ)の空洞。



穂木にピンを挿す。



穂木のピンを台木に挿す。

↓接ぎ木適期

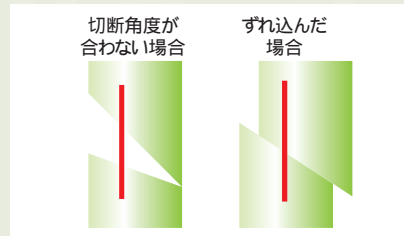
トマト	穂木・台木	本葉 2 ~ 2.5枚	} 胚軸はつまようじ 径 2 mm前後 の太さ
ナス・ピーマン	穂木	本葉 2.5枚前後	
	台木	本葉 3 枚前後	

トマトは、穂木・台木ともに双葉の下、ナス・ピーマンは双葉の上を平らまたは45度にカットします。

↓接ぎ木のポイント

①接着面が広がる斜め切り（45度カット）は、活着率向上が期待できますが、穂木と台木の切断角度が合わずに空間ができたり、力を入れすぎてずれ込んだりすることがあるので注意が必要です。

→台木にピンを半分挿し込み、穂木を台木のピンに挿し込んで密着させる（軽く力を入れる）。



トマト接ぎ木適期苗の状態（左：台木、右：穂木）



② 台木を切断する。平らまたは45度に対応する。
③ 台木のピンに穂木を挿す（穂木のかたさにより適宜対応する）。
④ トマト接ぎ木完了苗。

- ②基本は、先に台木にピンを挿し込みますが、台木よりも穂木がかたい場合は、穂木から先に差し込んで接ぎ木を行います。
- ③ウリ科接ぎ木同様、過湿管理にすると、穂木から自根が出て活着不良の原因となるので注意が必要です。

接ぎ木後の養生条件

	期間(日)	温度()	湿度(%)
トマト	1~2日目	28	98
	3~4日目	25~28	93~95
	5~6日目	20	90以下
ナス ピーマン	1~2日目	28	98
	3~5日目	25~28	93~95
	6~7日目	20	90以下

ここでの養生条件は、あくまで目安です。

~ナス科でのピン接ぎ法の注意点~

接ぎ木の完了した苗は地表面から垂直に立つのが理想ですが、台木の首元が弱かったり、穂木が大きい場合に、穂木の重みで苗が斜めになり接着面が外れる時があります。穂木と台木のバランスがとれた苗を仕上げるように心掛けましょう。



穂木と台木のバランスが悪いナス苗。

タキイ式接ぎピンセット

申込番号 10-009-01 1セット 9,500円

ツギピン

申込番号 10-009-02 1箱(100本入×10) 3,200円

タキイセル培土 TM-1

申込番号 10-009-03 50ℓ 1袋 2,700円*

申込番号 10-009-04 100ℓ(50ℓ×2袋) 4,800円*

タキイ育苗培土

申込番号 10-009-05 50ℓ 1袋 2,500円*

申込番号 10-009-06 100ℓ(50ℓ×2袋) 4,300円*

タキイたねまき培土

申込番号 10-009-07 50ℓ 1袋 2,600円*

申込番号 10-009-08 100ℓ(50ℓ×2袋) 4,500円*

培土のみインターネットでもご注文いただけます。www.takii.co.jp

掲載商品には一部、通販で取り扱いのないものもございます。ご了承ください。
*印商品に限り、送り先が「沖縄県」「離島」宛の場合は送料をご照会ください。